

田家早梅のふり長ドヤ。是非も花てふ花は

昨日の傳書

留字を記しは二枚の内田家宛

早梅の書畫紛失あや人の名筆

故に早梅の好書をも書画せし

人ど戯れ合ひては、何ては

大兄が持つて行かんとは、是れ

筆末の本懐、名筆の上下

実は昨年方梅日は、ヤケクソの揮毫

生かすを初め、繪ちり、抄もや、アツと紙止め、書画の、後海中